

# 2024.11月 女性チャレンジ応援拠点だより



コラム

## 「言語化に慣れて、明るい未来?!」

7日は「立冬」でした。京阪神の「紅葉の秋」はこれからですが、京都や奈良の名所は大混雑必至、近場で愉しむのがよさそうです。近所のお寺にけっこう大きな銀杏の木があったりして、人も少なく、案外それなりに風情を味わえます。せっかくですから秋の俳句をさがして、『行く秋の なほ頼もしや 青蜜柑』（松尾芭蕉）。

さて11月の『夢をカタチにみちびくコミュニケーション』は、言語化について考えてみましょう。みなさんの中にもいらっしゃるでしょう、「なかなか言葉にできなくて…」。

たしかにチャレンジを決心したあなたの深く複雑な想いや、頭に描く活動の構想などは、そう簡単に言語化できそうにありません。でも、それができたなら「明るい未来」が待っていることもあります。例えば、ビジネスプランコンペに応募し、事業プランを練りにねって、さいわい入賞し、飛躍の足掛かりをつけた、という人はたくさんいます。そこで、題して「言語化に慣れて、明るい未来をひきよせる?!」。

普通の会話では、自分のやりたいことを色々話し、多弁なのに、それらをとりまとめて文書化するとすると、「できない」と頭を抱える。能力がないわけでもないのに、なぜそうなるのか、考えてみました。おそらく、「できない」のではなくて、できるまでやっていないだけではないでしょうか。「生みの苦しみに」早めに音をあげてしまう、時間をかけずに諦めてしまっているのでは？

教育学・言語学・心理学者のジム・カミングスが、しゃべる言語と思考する言語は別物であると説いています。前者を「生活言語能力=BICS」、後者を「学習言語能力=CALP」と名付けたそうです。外国語を習っているとよくわかりますね。日常会話はそこそこできて、新聞や本などを読んで内容を理解する、考えをまとめて文章に書く、ということができるようになるには相当の努力が必要です。

『言葉にできる』は武器になる。』（※）の著者である第一線のコピーライターは、まえがきで次のように語っていま

す。「言葉は思考の上澄みに過ぎない。思考を磨かなければ言葉の成長は難しい。思考の深化なくして言葉だけを成長させることはできない」。だから「自分との会議時間を確保する」ことを勧めているようです。

何ごとも『一日にして成らず』。学習言語能力は能力というぐらいですから開発できるはずで、思考を深めるためにも、時間を何にどう使うか、見なおしたいものです。ともあれ、言語化・文書化の必要性の迫られた時、簡単には諦めず、時間投資をすることを良しとしましょう。時間を無駄にしているように感じるでしょうが、けっしてそうではありません。試行錯誤の過程が思考の深化につながります。机にむかっている時だけでなく、例えば、掃除機をかけながら、頭をめぐらす。家事はカラダが憶えているので、頭ではいろいろなことを考えられるのです。

言語化にあまり苦労しない人の共通点は、やはり何かにつけ「書く」習慣があることです。日記ばかり、見聞きして気になった言葉を、自分の想いつきや着想を、必ずメモしています。ともあれ、方法は色々ありますから、自分に合った習慣をつくっていきましょう。チャレンジの発展過程では、想いや構想を書きだして文書にしなければならぬ局面は付いてまわります。言語化・文書化の能力はかなり重要な課題です。もちろんその道のプロに頼むことも対価を払えばできますが、それでも、核心の考えは主体的にアウトプットすることです。その核心を軸に事業・活動全体のコンセプトがデザインできて、具体的な活動方法もちぐはぐにならずに済み

みなさんの孤軍奮闘は続きますが、「女性チャレンジ応援拠点」が後押ししていきます。スタッフ一同ご利用をお待ちしております。

《参考文献》(※) 梅田悟司、『言葉にできる』は武器になる。』。日経BP 日本経済新聞出版.2016.

## 女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階  
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp

運営：大阪市立男女共同参画センター中央館  
(電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705)

※開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※開室時間内は自由に出入りいただけます。  
お気軽にお立ち寄りください。

